

令和8年度（2026年度）

試験区分	学校推薦型・特別選抜
学部学科	国際政策学部 学科共通
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>国際政策学部は、地域社会の活力ある豊かな発展に貢献するとともに、平和で豊かな国際社会の形成のために行動できる人、すなわち「行動する国際人」の育成を目指している。入学者には、本学部のこうした理念・目的への理解と志向に加え、「行動する国際人」に必要な「学修のための基礎的能力」と「論理的・創造的な思考を表現できる能力」が求められる。</p> <p>今回の小論文では、日本の人口問題、とりわけ日本人人口と日本に常住する外国人人口の推計から、将来の日本の地域社会において起こりえる課題について、基本的な知識や関心、自分の意見を持ち、それらを論理的に説明する力を有しているかを問い、国際政策学部生として学ぶための基礎的な力を備えているかを確認する。</p> <p>評価は、知識理解、論理性、躍動性の3つの観点から行う。知識理解に関しては、日本人人口の減少や常住外国人人口が増加している背景や要因について、関心や知識を持ち、自分なりの理解を得ているかを確認する。論理性については、日本の人口問題がどのような要因により生じてきており、その問題を解決するためにはどうしたらよいかを論理的に示すことができるかを問うている。躍動性については、知識理解や論理を踏まえたうえで、発展的な発想で解決策を提示する力を有するかを問うている。</p> <p>本問は、現代社会に生きる我々が直面する社会の変化や、よりよい多文化共生社会をどのように築いていくのかを問うものであり、長期的な視点で学ぼうとする高校生や、社会人・帰国子女・留学生等の特別選抜試験受験者を対象とした課題とすることを想定する。</p> <p>なお、解答には何らかの正解を求めている訳ではなく、意見の違い自体が評価に影響することは想定しない。</p>